

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
警察運営費	1,176,140 (1,194,419) 国 1,268 使 305,001 財 24,935 諸 35,531 ⊖ 809,405	<p>重 1 社会全体で犯罪被害者等を支える取組み推進事業 1,030</p> <p>犯罪被害者遺族等を講師とする講演を開催し、犯罪被害者支援に関する社会活動への参加促進及び社会全体の規範意識の向上を図る。</p> <p>重 2 性犯罪被害者等への支援強化事業 2,537</p> <p>性犯罪被害者の性感感染症検査等にかかる再診料や検査費用及び身体犯被害者の初診料や診断書経費等を公費負担し、被害者の負担軽減を図る。</p>
装備費	499,476 (448,711) 国 151,416 ⊖ 348,060	<p>1 警ら用自動車等の更新整備 43,581</p> <p>全ての警察事象に即応しなければならない地域警察活動の基盤となる警ら用自動車（白黒パトカー）等の計画的な更新整備を図る。</p>
警察施設費	1,006,909 (2,673,684) 国 108,098 財 57,032 繰 3,403 起 615,500 ⊖ 222,876	<p>1 甲賀警察署移転新築整備 401,274</p> <p>老朽・狭隘著しく、耐震基準を満たしていない甲賀警察署の移転新築整備に伴い、庁舎新築工事及び監理委託、放送電波障害対策等を行う。</p> <p>2 運転免許センター新築整備 74,730</p> <p>老朽・狭隘が著しく、耐震基準を満たしていない運転免許センターの新築整備に伴い、庁舎新築工事にかかる実施設計や用地測量、地質調査を行う。</p> <p>3 警察署長公舎の新築整備 32,986</p> <p>老朽化著しく倒壊の危険性がある高島警察署長公舎を更新し、突発重要事案の発生などの有事における指揮命令権者の居所の耐震化を図る。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説 明
		<p>4 交番・駐在所の新築整備 261,881</p> <p>地域防災等の最前線基地となる県下全ての交番・駐在所のうち経年劣化による老朽化が著しく、地震等の発生時に倒壊の危険性がある7施設を新築整備する。</p> <p>⑤ 女性が活躍できる環境整備事業 2,948</p> <p>女性警察官専用のシャワー室等が整備されていない警察署にシャワー室等を新設整備する。</p>
刑事警察費	<p>567,094 (489,559)</p> <p>国 20,383</p> <p>使 54,255</p> <p>○ 492,456</p>	<p>重 1 犯罪の起きにくい社会づくり推進事業 3,118</p> <p>犯罪の起きにくい社会を実現するため、重層的な防犯ネットワークを構築してボランティア活動の活性化を図るとともに、積極的な情報発信により県民の防犯意識の高揚を図る。</p> <p>重 2 高齢者を振り込め詐欺から守るシルバーガード推進事業 2,434</p> <p>高齢者を振り込め詐欺等の特殊詐欺から守るため、高齢者による高齢者への防犯指導を行うとともに、詐欺電話防止機器の貸出し事業を実施する。</p> <p>重 3 安全・安心なサイバー空間構築推進事業 5,188</p> <p>サイバー空間の浄化等を目的としたサイバーボランティアによる多岐の活動を積極的に支援し、社会全体でサイバー空間の脅威に立ち向かう気運を醸成するとともに、サイバー犯罪への捜査力を強化して、安全・安心なサイバー空間を構築する。</p> <p>重 4 少年の立ち直り（社会参加・貢献活動）支援事業 1,095</p> <p>少年の健全育成に資する活動を地域ぐるみで活性化し、非行少年を生まない社会づくりを推進するとともに、少年の立ち直り支援等を目的とした社会参加・貢献活動型の取組みを推進する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
		<p>⑤ 画像鮮明化装置の整備 796</p> <p>防犯カメラ画像等の映像証拠を有効に活用するため、画像鮮明化装置を整備して、捜査力の向上を図り、検挙活動を推進する。</p> <p>⑥ 地域見守りカメラ設置促進事業 12,500</p> <p>犯罪多発地域の自治会や自主防犯団体などに対し、「地域見守りカメラ」を無償貸付けし、同地域における犯罪の抑止と防犯活動の活性化を図る。</p>
交通指導取締費	<p>1,750,165 (1,924,286)</p> <p>国 251,820</p> <p>使 276,772</p> <p>諸 109,106</p> <p>起 225,600</p> <p>⊖ 886,867</p>	<p>① 高齢者交通安全対策事業 3,001</p> <p>高齢者の交通事故発生が予測される地域を「思いやりゾーン」と設定し、総合的な交通事故防止対策を展開する。</p> <p>② 高齢者対象運転免許自主返納促進事業 355</p> <p>高齢運転者による交通事故が増加する中、高齢者が運転免許証を返納しやすい社会環境を構築し、自主返納気運の醸成を図る。</p> <p>③ 児童・生徒を交通事故から守る「おうみ通学路交通アドバイザー」事業 2,854</p> <p>おうみ通学路交通アドバイザー制度を継続し、通学路における交通安全の一層の向上を推進し、安全で安心な通学路環境を持続する。</p> <p>④ 安全・安心な自転車利用促進事業 7,128</p> <p>スタントマンが自転車事故を再現するスケアード・ストレイト教育技法を用いた自転車安全教室を開催し、安全・安心な自転車利用の促進を図る。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
		<p>⑤ 5 道路標識緊急点検・整備経費 28,959</p> <p>老朽化した道路標識について、専門業者による点検を実施するとともに、倒壊の危険性が高い標識を修繕整備する。</p> <p>6 補助交通安全施設整備事業 442,776</p> <p>(1) 交通管制センターの整備 138,216</p> <p>交通の安全と円滑化を推進するため、交通情報収集のための集中制御機の更新等を行う。</p> <p>(2) 交通信号機の整備 129,958</p> <p>交通規制の効率化や高齢者等交通弱者の安全を図るため、視覚障害者付加装置の新設などの信号機改良整備を行う。</p> <p>(3) 円滑化対策事業 80,122</p> <p>慢性的な交通渋滞の解消を図るため、信号機の高度化を進めるとともに、信号灯器等の更新整備を行う。</p> <p>(4) ゾーン・通学路対策事業 63,260</p> <p>最高速度を時速30kmに規制する区域を「ゾーン30」地区と設定し、歩行者の通行を最優先とした道路交通安全を確保する。</p> <p>7 単独交通安全施設整備事業 141,675</p> <p>(1) 交通信号機の整備 84,743</p> <p>信号機の新設や信号灯器の更新整備等を行う。</p> <p>(2) 道路標識・標示の整備 42,190</p> <p>道路標識・道路標示の新設及び老朽施設の更新を行う。</p>